

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名		末梢神経系理学療法学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時間	前期	教室名	302
担 当 教 員		太田 珠代	実務経験とその関連資格	小児系医療機関で、理学療法士として運動療法等を提供していた。協会活動においてスポーツ分野にも携わる。認定理学療法士(学校教育)を取得。			
《授業科目における学習内容》							
末梢神経疾患に対する特有の評価から治療技術、問題解決までの理学療法を、演習を交えながら学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験90%、授業態度・提出物10%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
標準整形外科学(医学書院)、配布資料							
《授業外における学習方法》							
授業で提示した課題に取り組む							
《履修に当たっての留意点》							
教科書、配布資料を忘れずに持参すること、前回の課題をしっかりと取り組むこと							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の構造、神経電位の動きについて説明できる		教科書 配布資料	授業で提示した課題	
		各コマにおける授業予定	末梢神経についての解剖				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の構造、神経電位の動きについて説明できる		教科書 配布資料	授業で提示した課題	
		各コマにおける授業予定	末梢神経についての生理学				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の特徴的な損傷・変形を理解できる		教科書 配布資料	授業で提示した課題	
		各コマにおける授業予定	末梢神経の損傷・変性				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	適切な評価方法を説明できる		教科書 配布資料	授業で提示した課題	
		各コマにおける授業予定	末梢神経の評価, 方法				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の支配領域の理解		教科書 配布資料	授業で提示した課題	
		各コマにおける授業予定	上肢				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の支配領域の理解	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	下肢		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の病態・症状・理学療法 of 理解	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	胸郭出口症候群1		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の病態・症状・理学療法 of 理解	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	胸郭出口症候群2		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の病態・症状・理学療法 of 理解	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	CRPS		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の病態・症状・理学療法 of 理解	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	CRPS まとめ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の病態・症状・理学療法 of 理解	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	骨折 上肢1		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の病態・症状・理学療法 of 理解	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	骨折 上肢2		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の病態・症状・理学療法 of 理解	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	骨折 下肢1		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の病態・症状・理学療法 of 理解	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	骨折 下肢2		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の病態・症状・理学療法 of 理解	教科書 配布資料	授業で提示した課題
		各コマにおける授業予定	まとめ		